



皆さんは、動物園に遊びに来た時に「なぜ?」「どうして?」と思ったことはありませんか?

「教えて!飼育員さん!」は、来園者の皆さんからの疑問に飼育員がお答えする企画です。

それでは早速、質問にお答えしましょう。

今回の質問はこちら。

ペンネーム: たき さん からの質問
ウサギやモルモットは、
どうして色の違う子がいるのですか。
茶色や黒の違いは、
どうやって生まれるのですか?

ご質問、ありがとうございます。

ふれあい館のウサギ・モルモットは、黒や茶色、白など様々な毛色の個体があります。どうして、色が違うのでしょうか。今日は、ウサギやモルモットの毛色のヒミツについて解説をしていきます。



簡単にいうと、ウサギとモルモットの毛色は、個体の親や、祖父母からの遺伝で決まります。両親からそれぞれもらった毛色の遺伝子の組み合わせによって、子どもの毛色が決まるのです。

しかし、1本1本の毛は1色なのか複数色なのか、体全体の毛は同じ色なのか部分的に違う色になるのかなど、毛の色と一言で言っても、様々な遺伝子が関わり、その組み合わせも様々です。また、それぞれの個体が何色の遺伝子を持っているかは、外見だけではわかりません。そのため、私たち飼育員も「個体Aと個体Bを繁殖させたら子どもは何色」と断定はできません。生まれるまでのお楽しみです。

実際に当園のウサギでは、母親(白)と父親(茶)から、白・茶・黒の個体が生まれています。両親の毛色は黒ではありませんでしたが、実は黒い毛になる遺伝子をどちらかの個体が持っていたのですね。



このように、兄妹でも毛色が似ていることもあれば、全然違うこともあります。特にモルモットは、毛色や模様が1頭1頭違うので、飼育員は毛色で個体を見分けています。

全部がわかるわけではないからこそ、おもしろい動物の毛色。興味があればぜひ、調べてみてくださいね。